



火災発生時の放送内容を統一します。

7月1日から火災が発生した時、防災行政無線からの放送内容を次のとおり統一します。

火災が発生した時

「こちらは防災三好市役所です。▼ただ今、(住所※番地は入りません)(自治会名)(目標物)付近で(〇〇火災)が発生しています。関係する消防団員は出勤してください。」
「繰り返しお知らせします。〈▼から繰り返し〉」

火災が鎮火した時

「こちらは防災三好市役所です。▼先ほど発生しておりました火災は、〇〇時〇〇分に鎮火しました」
「繰り返しお知らせします。〈▼から繰り返し〉」

- ※ 東祖谷についてはオフトーク装置による放送。
- ※ 防災行政無線の無い山城地区を除きます。

土砂災害に注意
土砂災害とは、地表の土砂や岩が崩れ落ちる現象で、長雨・大雨・豪雨時によく起こります。市内には、がけ崩れや地すべり、土石流などの土砂災害が起きやすい場所が多く存在し、台風や集中豪雨、長雨などによって、土砂災害が起こると大きな被害を受けることが考えられます。

次の前兆現象がありましたら、安全な場所に避難しましょう。
また、大雨がいちばん強く降つてから1時間以内、あるいは3

情報を見きわめ、早めの安全確保を

土砂災害に注意

土砂災害とは、地表の土砂や岩が崩れ落ちる現象で、長雨・大雨・豪雨時によく起こります。

がけ崩れ
小石がバラバラと落ちる。
がけに裂け目ができる。
がけから水が湧き出てくる。
地すべり
地面にひび割れができる。
陥没や隆起が生じる。
土石流
山鳴り音が聞こえる。
川の水が急に減り始める。

4時間後を中心として、土砂災害が起きやすいことが、統計的に知られていますので、注意が必要です。
避難には早めの決断を
市の指定避難場所は、地域の公民館・小中学校などです。避難のタイミングを逃すことで、被害にあうことが少なくありません。避難を開始するときには、もはや移動には危険な状態になっていることがあります。状況の変化など、情報には、敏感に対応し、早めに避難することが大切です。万が一、自主避難をする場合は、必ず市役所に連絡してください。

家族での話し合いを

災害は、突然襲ってきます。いざというときに、的確かつ迅速に動けるかどうかは、事前の決定事項が左右します。つまり、日頃から家族で防災の話し合いを行い、災害時の行動や役割を決めておけば、肝心なときにあわてず段取りよく行動できる可能性が高まります。一人ひとりが防災を自らの問題として考え、日頃から話し合うことで災害に備えましょう。



豪雨に注意

集中豪雨や土砂災害の最も危険な季節です。

安全対策は万全ですか？

集中豪雨に注意

近年の異常気象により、大雨や集中豪雨による自然災害が発生しやすくなっており、自然災害が発生すると、人間の力ではどうすることもできない状態になる場合があります。しかし、みなさんが予防対策をすることで被害を最小限に抑えることもできます。

そのためには、いざというときに一人ひとりがあわてずに適切な行動ができるよう、日ごろから正しい知識を身につけておくことが大切です。

集中豪雨のメカニズム

豪雨が発生しやすいのは、梅雨の終わり頃など前線が停滞しているときです。

さらに台風が接近してくると南から温かく湿った空気が流れ込み、前線を刺激することから、台風から離れた場所でも、激しい雨を降らせませす。

い雨を降らせませす。

集中豪雨が発生すると

短時間のうちに狭い地域で集中して降る集中豪雨は、突発的に降ることが多く、予測は非常に困難です。周辺に比べて低い土地への浸水、河川のはん濫や土砂崩れなど、大きな被害を生むことがあります。

急傾斜地や丘陵の造成地、レジャーなどで山間部の河川にいる場合は、気象情報に十分注意しましょう。

日頃から情報収集を

集中豪雨は予測が立てにくく完全には防ぎにくいという問題がありますが、最近の観測施設の整備で、以前に比べ集中豪雨の正体はすばやくとらえられるようになってきました。

日頃から気象情報などの情報を収集を習慣づけることで、被害を最小限に抑えましょう。

テレビやラジオの天気予報のほかに、電話でも地元の気象台が発表する情報を聞くことができます。徳島地方気象台の情報は、局番なしの177番です。ほかの地域の情報を知りたい場合は、市外局番+177番で、その地域の情報を聞くことができます。また、インターネットも様々な情報を得るツールとして大変有効です。

時間雨量(mm)	予報用語	雨の降り方	災害発生状況
10～20	やや強い雨	ザーザーと降り、雨音で話し声がよく聞こえない。	長く続く時は注意が必要。
20～30	強い雨	傘をさしても濡れる。車のワイパーを速くしても見づらい。	側溝などがあふれる。
30～40	激しい雨	バケツをひっくり返したように降り、道路が川のような。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯は避難の準備が必要。
40～50	非常に激しい雨	滝のように降り、水しぶきで視界が悪くなる。車の運転は危険。	土砂災害が起こりやすくなり、多くの被害が発生する。
50～60	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。	雨による大規模な災害発生危険があり、厳重な警戒が必要。

土砂災害警戒情報を発表します。

大雨警報発表中にさらに大雨による土砂災害の危険度が高まった時に、市町村を特定し徳島県と気象台が共同で「土砂災害警戒情報」を発表します。

この情報は、市町村長が避難勧告などを発令する際の判断や住民の方が自主避難の判断に利用することを目的としています。

住民の方は、土砂災害警戒情報が市町村から伝えられたり、テレビやラジオで自分の住んでいる地域にこの情報が発表された場合は、早めの避難を心がけてください。

お問い合わせ 徳島地方気象台防災業務課
(電話 088-626-0676)



災害・防災無線等に関するお問い合わせ先
三好市総務課危機管理室(電話72-7625)